

文部科学省委託事業「青年総合プログラム」

チャレンジング・デイズ 2008

兵庫県自転車縦断プログラム

はじめに

今回は当イベントにご応募いただき誠にありがとうございます。

このたびは文部科学省の委託を受けて当イベントを実施することになりました。兵庫県を自転車で縦断するという普段の生活では決して体験することのできない7泊8日を経験することによってお子様の大きな成長につながることを期待しております。

このキャンプで私たちが常に大事にすることは以下の3つです。

これらのことを参加する子どもたちが体験し、さらなる成長を遂げる機会になればとスタッフ一同は考えております。

To discover one's self

- 自分と向き合うこと -

自転車でひたすら走り続け、夜になってその1日のことを思い返してみる。なぜあのときあんなことを言ったのか。なぜあのときあんなことをしたのか。じっくりと自分に向き合えば、自分の中にある答えに気づかせてくれる。

To connect with others

- 他者と関わること -

ひとりでは目の前にそびえ立つ岸壁を乗り越えることはできない。ひとりでは川の流れるを乗り越えるイカダをつくることもできない。過酷なプログラムのなかで、自分が他者と関わる。他者が自分を支えていること。それを本当の意味で実感する。

To confront the adversity

- 困難に立ち向かうこと -

自転車で兵庫県を縦断する。川の流れに逆らいながら登っていく。このプログラムの中にはいくつもの困難がある。失敗してもいい。ただ逃げ出さず立ち向かった者だけにわかることがある。その気づきが自分を成長させてくれる。

キャンプのご案内

- 名称 **チャレンジング・デイズ2008～兵庫県自転車縦断プログラム～**
- 日程 2008年8月18日(月)～2008年8月25日(月) 7泊8日
- 場所 兵庫県全域
- 集散 集合 8月18日(月) 8時00分 JR三ノ宮駅 中央口南側広場
解散 8月25日(月) 18時00分 同 上
- 人員 小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒 9名(7月11日現在)
- 引率 スーパーバイザー 1名
ボランティアスタッフ 6名程度
冒険プログラムの指導及び監修のため、冒険教育を専門とする有限会社アウトドア・エデュケーションセンターからディレクターの木下充氏が全行程に随行します。
- 費用 参加者一人 80,000円(消費税込)
行程中の宿泊費・食費・装備レンタル料・保険料等一切を含みます。
- お支払 下記郵便振替口座に参加費をお振込みください。
[口座名] プレーンヒューマニティーレクリエーション事業部
[口座番号] 00930-8-152228
[振込期限] 2008年7月28日(月)
備考欄には「チャレンジング・デイズ2008 兵庫県自転車縦断プログラム」と明記し、「参加者全員の氏名」をご記入ください。
兄弟姉妹でお振込の際はご注意ください。
グループで申込みされた方も、お振込は各家族単位で行ってください。
期日までにお振込できない場合は、ご遠慮なく、当会インフォメーションセンター(078-843-8849)までご相談ください。
- 解約 万一、本キャンプへの参加をお取りやめになる場合は、お早めにご連絡ください。
2008年8月8日(金)以降のキャンセルについては、キャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生いたしますのでご注意ください。なお、キャンセル料の発生日と、その参加費に対する割合は、以下の通りです。
- ・8月8日(金)以降にキャンセルする場合 参加費の30%
 - ・キャンプ前日にキャンセルする場合 参加費の40%
 - ・キャンプ当日にキャンセルする場合 参加費の50%
 - ・キャンプ開始後のキャンセル又は無連絡不参加の場合 参加費の100%

- 連絡先 キャンプ開始までのキャンセル、その他のご連絡
当会インフォメーションセンター：078-843-8849
(平日・土曜 9:00～18:00)
なお8月14日(木)～17日(日)までは当会インフォメーションセンターがお盆休みを頂いているため、期間中は当キャンプ担当者脇阪大輔(090-2105-3269)までご連絡下さい。
キャンプ集合時における遅刻または当日キャンセルのご連絡
姉川 卓司(副担当者):090-3628-8011
キャンプ中のご連絡
脇阪 大輔(担当者):090-2105-3269
- 委託元 文部科学省(青少年体験活動総合プラン採択事業)
- 受託 特定非営利活動法人 BrainHumanity レクリエーションセンター
〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園1丁目3-12 カミヤビル3階
当会インフォメーションセンター Tel:078-843-8849
- 協力 有限会社アウトドア・エデュケーションセンター
〒668-0014 兵庫県豊岡市野田8-1
Tel:0796-24-3370

特定非営利活動法人日本教育開発協会(JAE)
〒532-0012 大阪府大阪市淀川区木川東4-6-3 新大阪大同ビル4F
Tel:06-6100-3242

特定非営利活動法人み・らいず
〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋4-4-19 南陵住宅3F
Tel:06-6683-5533
- 担当者 脇阪 大輔(当会ボランティア・関西学院大学商学部)
携帯電話:090-2105-3269 E-mail:reds.daisuke@gmail.com

兵庫県自転車縦断プログラム 行程表

日付	時間	行動予定	場所	食事	宿泊
8/18(月)	8:00 午前 午後	集合 バスで移動 キャンプレクチャー（MTBの基本操作、チームラン、地図読み指導）	JR三ノ宮駅 南あわじ市	昼：各自持参のお弁当 夕：施設食	国立淡路 青少年交流の家
19(火)	午前 午後	MTBで移動 MTBで移動	淡路島内	朝：施設食 昼：グループで買い出し 夕：グループで買い出し	岩屋港で テント泊
20(水)	午前 午後	MTBで移動 MTBで移動	神戸市内	朝：グループで買い出し 昼：グループで買い出し 夕：グループで買い出し	鎌倉茶屋で テント泊
21(木)	午前 午後	ロッククライミング ロッククライミング	百丈岩	朝：スタッフ買い出し 昼：弁当買い出し 夕：弁当買い出し	鎌倉茶屋で テント泊
22(金)	午前 午後	MTBで移動 MTBで移動	神戸市 ～ 朝来市	朝：スタッフ買い出し 昼：グループで買い出し 夕：施設食	西宮市立 山東自然の家
23(土)	午前 午後	MTBで移動 沢登り	阿瀬溪谷	朝：スタッフ買い出し 昼：弁当買い出し 夕：スタッフ自炊	阿瀬キャンプ場で テント泊
24(日)	午前 午後	MTBで移動 イカダ作り	円山川	朝：スタッフ買い出し 昼：弁当買い出し 夜：スタッフ自炊	円山川川沿いで テント泊
25(月)	午前 午後 18:00	イカダ下り まとめ 解散	円山川 JR三ノ宮駅	朝：スタッフ買い出し 昼：スタッフ買い出し	/

長距離の移動になるため、行程消化状況により、プログラム等が大きく変動する可能性があります。

プログラム概要

マウンテンバイク（MTB）グループプラン

ねらい

自信をつけるとともに、自分自身の力で自分の意志を伝える力を身につけること。

概要

MTBでの移動は大半をグループプラン（集団走行）で移動します。

行程中、その日毎に目的地を設定し、そこを目指して自転車で進んでいきます。

目的地に着くために、参加者はグループで地図を見て、相談し、道を決めて進んでいきます。参加者の主体性を育むため、基本的にはスタッフが先導したり、道を教えたりすることはありません。

安全管理

スタッフはルートについて子どもたちに介入しませんが、常時自転車で伴走し、参加者への安全配慮を行います。道路状況・天候により事故の危険性が高い状況では、スタッフが先導する場合があります。また、水分補給を常に行える体制を整えます。そのためにプログラム中、スタッフは常時参加者に同行するとともに自動車も随伴させ万全のサポートを行います。



ロッククライミング

ねらい

達成感を通し、自己への自信を育むこと。

仲間の命を預かることを通し命の大切さを感じることにとも、責任感を養うこと。

概要

ロッククライミングでは、最後の命綱はスタッフが持つものの、クライマーの命を支えるロープを仲間同士で握ります。登る方、支える方お互いの協力なくしてはできないプログラムです。この活動から少しのことでもあきらめない気持ちや、少しのチャンスでもトライする勇気、仲間の命を預かる責任感など、いくつもの大切なことを学ぶことができると考えています。

安全管理

参加者にはヘルメット、グローブ、ハーネス(安全ベルト)を装着させ、ザイル(ロープ)を命綱として安全を確保します。子どもたちの体を支えるハーネスやザイルは複数の人員で整備状況等をチェックし、きちんと装着してあることを確認します。登攀(とうはん；岩壁を登ること。)の技術等についてはスーパーバイザーであるアウトドア・エデュケーションセンターの専門家が指導を行います。



沢登り

ねらい

困難なことに向かう体験を通して、チャレンジする楽しさを感じる。
仲間とのつながりを意識し、グループの一員として自分らしくいられることを感じる。

概要

沢の流れの本流（一番流れのきついところ）を選び、グループで力を合わせ進んでいきます。この活動は、急流に押し戻されながらも踏ん張って登る「個人のチャレンジ」と仲間を励まし、助け、支える「グループとしての協力」の両方の要素を併せ持つプログラムです。

安全管理

この活動では、装備が非常に重要です。装備はウェットスーツ、沢たび、グローブ、ヘルメットをつけておこないます。また、ロープなども用意して、沢の落ち込みなどに対しても、細心の注意を払います。



イカダづくり・下り

ねらい

仲間とのつながりを意識し、グループの一員として自分らしくいられることを感じることを。

自分たちの力でこいでゴールすることを通して、参加者に旅の終わりを実感させること。

概要

与えられたタイヤチューブや板、ロープだけの材料で試行錯誤しながら、グループで話し合い、自分たちのイカダを製作します。完成したイカダで最終目的地にむけてこぎ進めます。流れの速い場所や瀬があり流れが急な場所をグループで力を合わせて乗り越えていきます。

安全管理

事前の下見で、川の瀬や水門を確認します。危険箇所では、手前でイカダを持って岸を移動する場合があります。雨による増水なども考えられるので天候等についても十分配慮します。



生活について

安全面について

各エリアにおける救急医療機関や緊急時の対応については、全スタッフが把握した上で実施します。事前調査を入念に行い、道路状況や危険箇所を十分に把握した上で実施します。

怪我・病気等の対応について

プログラム中に怪我、病気等が発生した場合、速やかに伴走している自動車に収容するとともにスタッフによる応急手当を行い、必要に応じて救急車の手配又は救急医療機関への搬送を行います。そのため、心肺蘇生や外傷の手当などの救命救急講習を受講しているスタッフが同行しております。

食事について

施設で宿泊する際には施設の食堂等を利用します。またキャンプ場等ではスタッフが自炊した食事を提供することもあります。移動時の食事については、沿道の飲食店を利用したり、コンビニエンスストアにてお弁当等を購入する場合があります。常に移動しているため、簡単な食事になる場合もありますが、栄養のバランスを考えた食事を摂ることを心がけます。これらの費用はすべて参加費に含まれていますので、特にお金等をお持たせになる必要はありません。

宿泊について

このプログラムでは施設による宿泊とテントを用いた屋外での宿泊を組み合わせています。特に移動中については行程の進行具合などにより宿泊場所を変更する状況が発生する可能性もあることから主にテントを利用した宿泊を行います。テント利用の場合においても安全で適切な場所を選定し、参加者の安全確保を図ります。

入浴について

原則として毎日入浴を行います。入浴できる場所（銭湯・温泉等）が近くにあるように、目的地を設定しています。

トイレについて

テントの宿泊先は、トイレが近くにあるところに泊まるようにしますので問題はありませぬ。MTBでの移動中は、コンビニエンスストアでトイレを借りたり、公衆トイレを探して利用するようにします。

持ち物について

[持ち物チェック](必ず全てお持ちください)

着替え 必要分 (Tシャツ・ズボンなど)

下着 必要分

長袖・長ズボン 1組 (キャンプ場で使用・虫よけのため、薄手がかまいません)

長そでジャージ上着 1着 (沢登りで着用・化繊のもの・綿製品は不可) ¹

防寒着 1着 (沢登りで着用・フリースもしくはセーター・綿製品は不可) ¹

化繊Tシャツ 2, 3着 (自転車で着用・綿製品は汗が乾かずベタつくので、スポーツ用シャツなど、化繊のもの)

ハーフパンツ 2着 (自転車で着用)

洗面具 1組 (タオル、歯磨きセットなど)

サンダル 1足 (キャンプ場などで使用)

自転車に乗りながら背負うことができるリュックサック等のカバン ²

水着 1着 (沢登り、イカダで着用)

懐中電灯 1つ (キャンプ場で夜間に利用、コンパクトなもの)

予備電池 1組 (懐中電灯用)

ビニール袋 2, 3枚 (濡れ物や洗濯物入れ、ごみ入れなどに使います。)

8月18日(月)昼のお弁当(容器は使い捨てのもの)

健康保険証のコピー

常備薬 (必要な方のみ)

帽子

筆記用具

水筒 2本 (500mlのペットボトルが軽くてベスト。保冷用のカバーがあれば望ましい。通常の水筒でも構わないが、リュックに入れて背負うのであまり大きく、重いものは適さない。)

雨具 (上下セパレートのもの。ポンチョタイプは不可。コンビニ等で販売されている簡易な雨具は活動中すぐに破れるので不可。)

バスタオル 1枚

タオル 必要分 (移動中等で汗をぬぐうためのタオル)

軍手

ハンカチ・ティッシュ

虫除けスプレー

日焼け止め

下記のはリュックサックに入れておいてください。

8月18日(月)昼のお弁当(容器は使い捨てのもの)

健康保険証のコピー

常備薬(必要な方のみ)

帽子

筆記用具

水筒 2本(500mlのペットボトルが軽くてベスト。保冷用のカバーがあれば望ましい。通常の水筒でも構わないが、リュックに入れて背負うのであまり大きく、重いものは適さない)

雨具(上下セパレートのもの。ポンチョタイプは不可。コンビニ等で販売されている簡易な雨具は活動中すぐに破れるので不可。)

タオル 1枚

ハンカチ・ティッシュ

虫除けスプレー

日焼け止め

- 1 沢登りでは全身が水に濡れますので、長時間、活動をおこなっていると身体がかなり冷えます。体温低下を防ぐために撥水性の高い化繊のものやウール製のもので体を保温します。綿製品は水を含み重くなり、体温を奪う性質があるため使用できません。また、下半身はウェットスーツ、沢たびをレンタルし、着用します。沢登りでは必ず指定のものをご用意下さい。
- 2 リュックは自転車移動の際に使用します。水筒、タオル、雨具などが入る程度の大きさをご用意ください。背負って自転車を漕ぐため、タスキ掛けタイプのはバランスが悪いため不適當です。両肩に掛けるタイプのものをご用意下さい。

持ち物にはすべて氏名をご記入ください。

当日は、ひも締めもしくはマジックテープ式の脱ぎ履きが楽な履きなれた靴でお越しください。

お小遣い、おやつ、携帯電話、電子ゲーム機器、カードゲーム類等の持参はご遠慮ください。その他の時計、カメラ等は保護者様の責任において持たせて頂いても結構です。

自転車で移動の際は、水筒、タオル、雨具等をリュックに入れて走ります。その他の個人の荷物は伴走車で運びます。

宿泊施設情報

国立淡路青少年交流の家

〒656-0543

兵庫県南あわじ市阿万塩屋町 757-39

TEL : 0799-55-0463 FAX : 0799-55-0463

URL : <http://awaji.niye.go.jp/index2.html>

西宮市立山東自然の家

〒669-5125

兵庫県朝来市山東町粟鹿字畑田 2179

TEL : 079-676-4100 FAX : 079-676-4466

URL : <http://www.santosizennoie.jp/>

連絡先

プログラム中の連絡は下記までお願いいたします。

事務局への連絡

BrainHumanity 本部事務局 Tel 0798-63-4441

事務局担当者(能島) Tel 090-3940-5273

現地への連絡

プログラム担当者 脇阪 大輔 Tel 090-2105-3269

姉川 卓司(副担当者): 090-3628-8011

山間部等では電波状況により携帯電話が通じない場合がありますので、ご了承下さい。その場合は当会事務局までご連絡下さい。

プログラムの支障になる可能性があるため、現地への連絡は緊急時のみにしていただきますようお願いいたします。

協力団体紹介

有限会社アウトドア・エデュケーションセンター

冒険教育や冒険プログラムを専門とする我が国での数少ない会社で、青少年への冒険教育プログラムだけでなく、企業での社員研修や学校への体験プログラムの提供なども行っています。

〒668-0014

兵庫県豊岡市野田 8-1

TEL : 0796-24-3370 URL : <http://www.o-ec.co.jp/>

特定非営利活動法人日本教育開発協会 (JAE)

青少年へのキャリア教育や学校教育支援などを幅広く展開しています。

〒532-0012

大阪府大阪市淀川区木川東 4-6-3 新大阪大同ビル 4F

TEL : 06-6100-3242 FAX : 06-6100-3243

URL : <http://www.jaee.org/index.htm>

特定非営利活動法人み・らいず

地域での青少年育成活動や障害児等への支援活動を展開しています。

〒559-0015

大阪府大阪市住之江区南加賀屋 4-4-19 南陵住宅 3F

TEL : 06-6683-5533 FAX : 06-6683-5532

URL : <http://www.me-rise.com/index.html>

ブログのご案内 ~ PCや携帯からキャンプの様子がわかります~
プログラムに随伴するスタッフが毎日、キャンプの様子を写真付きでお伝えします。その日のプログラム内容や参加者の様子などをアップしていきます。
ご家庭のパソコンや携帯電話からその内容をご覧いただくことが可能です。
パソコン又は携帯電話に下記のURLをご入力下さい。

チャレンジング・デイズ 2008 公式ブログ

<http://d.hatena.ne.jp/challenging-days/>

